

R5-6年度の取り組み

R5年度関係者アンケートでわかったこと

<生徒アンケート>

- ・ 生徒の9割が部活動に参加している。
- ・ 参加の目的は「興味がある」「チャレンジしたい」「体力・技術の向上」。
- ・ 希望する活動日数は週4～5日が5割を超える。
- ・ 休日（土日）の参加希望は半々に割れる。

<保護者アンケート>

- ・ 保護者が部活に求めるのは「①人間関係の形成」「②責任感・連帯感の醸成」「③スポーツ文化に触れ合う機会」
- ・ 地域クラブへの参加は7割の保護者が「参加は子供に任せる」。

<教職員アンケート>

- ・ 部活動は3割が「不満はない」、4割が「負担だがやりがいがある」、2割が「負担、やりがいがない」
- ・ 部活動地域移行に対する不安は「地域クラブの関わり方」
- ・ 休日の地域クラブ活動には「関わりたくない」が4割

アンケート自由記述でわかったこと

<生徒アンケート>

- ・ 部活動を「コミュニケーションのツール」と捉える生徒は一定数存在する。
- ・ 一方「勝ちたい」「良い成績をあげたい」という声も。
- ・ 活動場所の希望は「歩いて行ける距離」

<保護者アンケート>

- ・ 部活動への参加が成績（高校進学）へ影響するのではないかと、不安に感じている保護者が多い。
- ・ 夜間の活動時間を避けたいから地域移行へは反対。
- ・ 指導者に求めるのは「教員免許」ではなく、「指導者としての人間性」。
- ・ 教職員の過度な負担（拘束時間、無給）により部活動地域移行は仕方ないと捉える声もある。

<教職員アンケート>

- ・ 部活動は「やりたい」教職員だけがやるべき
- ・ 部活動地域移行するのであれば学校とは一切切り離してほしいという声も。
- ・ 一方、「成長が直に見え、やりがいを感じる」声もある。

関係者が自分ごと化するために

生活リズムが崩れないためには、活動は16時～18時？

指導をやりたい先生の活動の受け皿は？

放課後の“ゆるい”つながりを求めている？

R6年度市事業で取り組むこと

生の声を聞き、関係者同士で話し合う「熟議の場」開催

- ・ 東温市内の子どもたちの文化・スポーツ活動をどう充実させられるか。
- ・ 教育を自分事で考え、主体的に協力しあって学びの場をつくっていくための必要なプロセス。

外部指導者の発掘や学校とのマッチング

- ・ 外部指導者の募集、人材発掘、依頼、学校、部活顧問との調整
- ・ 兼職教職員のクラブ指導者登録、指導者謝礼の支払、将来的な地域クラブの体制づくり



対話と熟議で創出する未来のブカツ

～地域移行を見据えた部活動改革～



赤字：令和6年度事業



【主体】 【合意形成・役割（例）】

中学生

- ・活動方針を部員間で協議
- ・活動計画等の協議

学校・顧問

- ・生徒の主体性を伸ばす指導
- ・活動計画の確認、調整

保護者

- ・生徒主体の部活への理解
- ・保護者会等への周知

point1

生徒主体の部活動のあり方を「熟議」する場の創設

企画運営

【「熟議の場」をトータルコーディネート】

- ・熟議の場の周知、企画、進行等
- ・学校、生徒、保護者への周知と啓発
- ・教育委員会事務局への連絡
- ・検討協議会、学校運営協議会等各種会議での周知

【業務受託先】
(一社) コミスクえひめ

【業務連携先】
市内総合型地域スポーツクラブ

委託

検討協議会委員の意見を事業に反映

教育委員会事務局
学校教育課

報告・助言

東温市部活動地域移行
検討協議会

- ・全体方針の決定（教育委員会）
- ・学校、保護者、地域等への通知
- ・教職員の兼職兼業許可手続き

- 【構成員】
- ・学校代表 ・保護者代表
 - ・市内文化スポーツ団体代表



【主体】 【合意形成・役割（例）】

中学生

- ・練習メニュー等を協議
- ・主体的な活動実施

学校・顧問

- ・指導者間の役割分担等調整
- ・施設・道具の使用や管理

外部指導者

- ・生徒の主体性を理解
- ・顧問と指導メニュー等共有

point2

外部指導者登用と教職員の兼職兼業による「働き方改革」

企画運営

【外部指導者登用による体制づくり】

- ・外部指導者の募集、人材発掘、依頼
- ・学校、部活顧問との調整
- ・兼職教職員のクラブ指導者登録
- ・指導者謝礼の支払
- ・将来的な地域クラブの体制づくり

<次年度以降想定>

- ・指導者研修プログラムの作成と実施
- ・練習メニュー作成への助言

【業務外提案】

- ・地域学校協働活動サポーターの活用
- ・社会教育団体への協力要請
- ・体験学習事業とのコラボ

連携先

地域住民
地域団体

人材
バンク

大学・
専門家

部活動改革のコンセプト *Concept*

- ①地域で子どもを育て、持続可能な地域をつくる **チーム東温**
- ②生涯にわたってスポーツ・文化芸術に親しめる **地域づくり**
- ③生涯にわたってスポーツ・文化芸術に親しめる **人づくり**

R 6年度事業の成果と課題

point1

生徒主体の部活動のあり方を「熟議」する場の創設

実施後の成果（アンケート含む）

生徒・保護者ニーズの把握

- ・ 競技力・技術力の向上を希望する生徒がいる一方、放課後の仲間との活動時間そのものを大事にしている生徒も見受けられた
- ・ 家庭の心情として「部活動の時間帯は学校が見守ってくれるから安心」と捉えている傾向がある

実施後の課題

学校現場における「部活動地域移行」の理解度の低さ

- ・ 地域協働による部活動運営に対する理解度が少なく、顧問の補完的な立ち位置で外部指導者を考えている
- ・ 通常業務過多により、学校現場に新たな政策を考える時間的・精神的猶予がない

point2

外部指導者登用と教職員の兼職兼業による「働き方改革」

実施後の課題

家庭の活動希望時間帯と外部指導人材とのミスマッチ

- ・ 「これほどの部活動の時間帯を崩さないでほしい」希望が叶えられる人材を見つけるのが困難
- ・ 一方「だれでも興味関心をもてるように」「教育的視点をもつ指導者であること」など外部指導者への要求が高いが報酬額は未知数

部活動を“したい”顧問配置による新たな負担への懸念

- ・ 外部指導者を招聘した場合の連絡調整などが新たに事務負担として生じることへの懸念大
- ・ 生徒への指導方針が違ふことにより生じる指導者間の認識のずれに対する嫌悪感により外部指導者招聘を躊躇している

成果や課題に対する対応方針

今年度は「東温市内の子どもたちの文化・スポーツ活動をどう充実させられるか」を、一番の当事者である子どもたち、教師、保護者、文化・スポーツ指導者等が熟議＝しっかりと話し合う、という機会の創出に取り組んだ。

熟議の場は学校・行政任せから脱却し、教育を自分事で考え、主体的に協力しあって学びの場をつくっていくための必要なプロセスと捉えられる。

熟議を開催できた文化部（美術部）・運動部（屋内・屋外競技）で出された意見をサンプリングし課題抽出した。

顧問制や活動時間の制約など学校管理下の部活動への外部指導者の登用は課題が多く、実現には時間と労力を要する。

一方で学校側でも生徒が多様な活動を展開できるように既存の部活動を統合し、所謂マルチ部新設計画もあるとのこと。

しかし、保護者からは「部活動を続けてほしい」という要望も寄せられており、現場教職員からは「保護者意見を拒否しづらい。推進計画は策定されているが、教育委員会から部活動の廃止・活動縮減など明確に打ち出してほしい。」との声があがっている。

令和7年度以降は、運動部の土日練習の取りやめや活動日のさらなる縮減を実施する方針を示しつつ、地域クラブ設立の支援を行うことで、**地域クラブへの人流を作る事業**を計画する。

令和7年度の進め方

- ▶ 令和8、9年度中の部活動縮減を公表（教育長）

※別紙資料参照

- ▶ 令和7年度事業内容

①外部指導者登用を継続

②地域文化スポーツ団体の設立を支援

③中学校「軽運動部」「軽文化部」創設を検討

- ▶ スポーツ協会、スポーツ少年団、文化協会等理事者及び協会所属団体等に対して事業の周知・説明

令和7年度事業＝地域クラブ設立・運営委託事業（案）

事業イメージ



事業趣旨

既存学校部活動の種目を超えた新たな中学生世代の活動の場となる地域クラブの設立や運営を市民協働で実施。地域クラブの設立や運営を委託することで、将来的な地域クラブの自主運営に向けた基盤となる環境整備を図る。

事業規模

上限30万円/1団体 × 5団体 (R7年度予算)

■他自治体の例

R7	R8	R9	R10	R11
中1	中2	中3	-	-
小6	中1	中2	中3	-
小5	小6	中1	中2	中3
小4	小5	小6	中1	中2
小3	小4	小5	小6	中1

休日部活終 (R9)
全部活終 (R11)

他自治体では令和8年度秋から部活動終了や休日の部活動終了、以降段階的に全部活動の終了を計画しています。
東温市においても国ガイドラインに基づき、令和8年度以降、いつ部活動がなくなってもおかしくありません。
東温市では、地域クラブを継続的に支援できるよう、GCF（ガバメントクラウドファンディング）やふるさと納税を活用した資金調達を行っています。

東温市では部活終了年度は決定していません

事業実施Q&A

Q：既に活動しているチームでも受託可能か？

A：実施する事業が、中学生世代の受け皿確保につながる取り組みであることを条件に可能です。ただし既に指導者報酬が支払われているなど単に団体経費の組み替えと判断される場合は委託を行わない場合があります。

Q：既存部活動にない種目でも受託可能か？

A：可能です。

Q：中学生受け入れを始める際、小学生チームで使用していた備品を新調する経費は該当するか？

A：受け入れた中学生世代も備品利用することが明らかであれば経費として計上可能です。

(参考) R6年度の実施状況とR7年度の進め方

R7.5.10作成

R6.5.31 第4回部活動地域移行検討協議会

部活動に関係する皆さんの想いや願いをどう実現していくかを最優先に。学校の考えを、生徒・保護者・関係者の皆さんと熟議によって共有していく中で、合意形成を大切に。
結果、より良い東温市の部活動地域移行の姿として見えてくる。

R6.6.25 一般社団法人コミスクえひめと契約締結

R6.7.1 東温市部活動地域移行推進計画 策定

R6.7.1 東温市立中学校部活動の方針 改定

R6.7.25 教育委員会7月定例会での報告 ▶ 推進計画の策定と部活動の方針の改定

R6.7.29 中学校に対して2学期からの市事業実施に向け協力依頼

R6.8 コミスクえひめ→学校等関係団体に対して部活動地域移行について説明

全国的にも課題の多い取り組みであり、どのように進めればよいか各団体とも迷っている。東温市としての取組の進め方・考え方を啓発することはもちろん、関係団体との連携体制をつくることから始める必要がある。

R6.8 川内中学校体育館を拠点としたチーム設立について相談(女子バスケットボール)

任意団体より将来的なU-15世代の女子バスケ選手の活動受け皿設立に向けた相談があり、時限的に学校体育施設を開放。R7.1月から現小6年生を主として新規入会案内。参加生徒の人数により、R7.4月から本格的な活動を開始予定。

R6.10.8 サッカークラブメンバー募集チラシ配布

小学校6年生以上を対象としたクラブチームメンバー募集案内の配布に協力。未経験者、女子部員など幅広く募集。

R6.10.19 第1回熟議の場開催(重信・川内地区)

<川内会場>

開催日時: 10月19日(土) 10時~12時

開催場所: 川内公民館

<重信会場>

開催日時: 10月19日(土) 13時~15時

開催場所: 中央公民館

一般向け
事前WEB
アンケート
実施

R6.11.27 熟議の場開催(重中美術部)

R6.12.11 熟議の場開催(川中生徒、保護者、教職員)

R7.1.18 熟議の場開催(川中サッカー部)

R7.1.27 熟議の場開催(川中テニス部)

R7.2.8 熟議の場開催(保護者)

令和7年度の進め方(再掲)

- ▶ 令和8、9年度中の部活動縮減を公表(教育長)
- ▶ 令和7年度事業内容
 - ① 外部指導者登用を継続
 - ② 地域文化スポーツ団体の設立を支援
 - ③ 中学校「軽運動部」「軽文化部」創設を検討
- ▶ スポーツ協会、スポーツ少年団、文化協会等の理事者に対して事業の説明